

# 公益財団法人きょうと京北ふるさと公社

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 石浦道男

### 2 所在地

京都市右京区京北上弓削町段上ノ下2番地の1

### 3 電話番号

075-854-8488

### 4 ホームページアドレス

<http://fuw.jp>

### 5 設立年月日

平成13年12月25日

### 6 基本財産

30,000千円（うち本市出えん額 25,000千円，出えん率 83.3%）

### 7 事業目的

優良農地の保全及び農林業従事者の高齢化等に対応した作業受託等ふるさとの農林業の維持振興や担い手の確保育成を図るとともに、森林資源や清流など地域の優れた自然環境や特性を活かしながら、都市住民との積極的な交流活動等の推進を図ることにより、美しい農山村景観の保持や人と自然が輝く活力ある農山村社会の形成に資すること。

### 8 業務内容

- (1) 農地利用集積円滑化に関する事業
- (2) 農作業等の受委託に関する事業
- (3) 都市農山村交流，農林業等ふるさと産業振興施設及び機械の管理運営に関する事業
- (4) 都市住民との農山村の交流や定住促進に関する事業
- (5) 担い手農家等の確保育成に関する事業
- (6) ふるさと振興等の調査研究に関する事業
- (7) 地域特産物の開発研究や販売促進に関する事業
- (8) 地域交通に関する事業
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

京都市産業観光局農林振興室農政企画課（TEL075-222-3351）

### 10 役員名簿

#### (1) 理事長

石浦道男

#### (2) 副理事長

久保和平

#### (3) 常務理事

志賀昌宏

#### (4) 理事

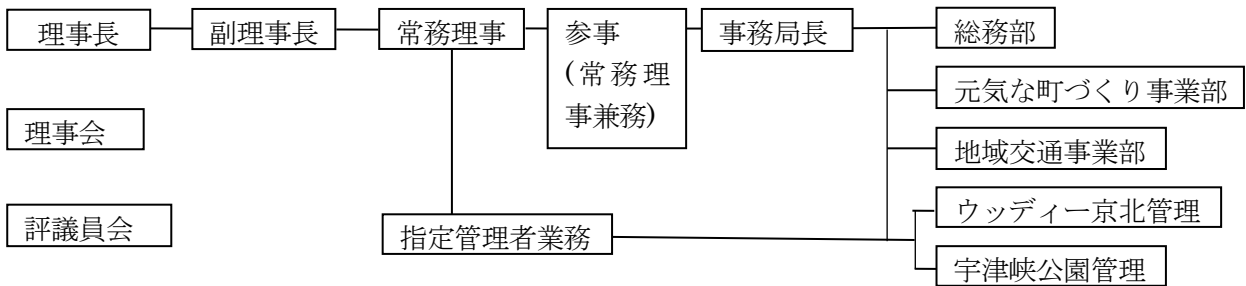
古家實義，梶谷薫，黒川修子，比賀江義次，天野和之（産業観光局農林振興室京北農林業振興センター所長），村山仁志（右京区役所京北出張所次長）

#### (5) 監事

西田悟，磯部富美子

11 常勤職員数  
19人（うち本市派遣職員 0人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成29年度決算

(1) 事業報告

ア 農地利用集積円滑化事業

(ア) 農地利用集積円滑化事業実績

利用権設定 0件

(イ) 農地中間管理制度による実績

- a 成立件数（マッチング件数）13件
- b 事業に伴う相談件数 12件
- c 農地貸付希望者数 申請件数 14件，合計面積 36,200㎡
- d 農地耕作希望者数（認定農業者，新規就農者等）申請件数 25件

イ 田舎の便利屋事業

(ア) 地域担い手確保事業

- a 受託件数 416件（前年度 469件）
- b 作業延べ人数 2,448人（前年度 2,655人）
- c 受託金額 28,039,492円（前年度 28,026,980円）

(イ) 農作業受託事業実績

春作業受託件数 87件，秋作業受託件数 86件

ウ 地域活性化事業

(ア) 地域特産物開発研究事業

- a 「道の駅ウッディー京北」加工食品販売高 49,904,635円（前年度実績 50,210,850円）
- b 学校給食地産品取扱高 5,974,264円

(イ) ふるさと振興等調査研究事業

- a 空き家情報の提供による定住促進
  - (a) 相談受付件数 3件
  - (b) 定住実績 1件
- b 市民農園「京北ふるさと農園さんりょう」の利用者拡大と運営
  - (a) 利用区画 26区画（募集区画 57区画）
  - (b) 利用者数 18名

(ウ) 都市と農山村交流事業

- a 主催イベント
  - 市民農園（1回），道の駅ウッディー京北（21回）
- b 参加イベント
  - 京北地域内（2回），京北地域外（16回）

c その他

農業への関心を高めてもらうため、キャリア教育に取り組んでいる地元公立高校と連携し、1年生による農作業(野菜苗の定植及び成果物の収穫)体験も実施し好評を得た。

エ 地域交通事業

(ア) 京北ふるさとバス

「公共交通空白地有償運送事業」による地域唯一の公的生活交通手段として、地域住民の安全・安心な“足”となるよう、ふるさとバスの運行に取り組んだ。

中学生の通学に伴う乗車が運行収入の大半を占める中、地域バス案内所での問い合わせ対応や発券業務、PRのためのイベント(バスまつり)の実施など、利用者の利便性を図り乗車人員の減少を防ぐための取組を実施した。

新たな取り組みとしては、前年度に取り組まれた社会実験での結果を一部本格運行に移行し、また、観光へ視点を置いた「美山・京北バス旅ルート」も継続運行するなど、結果として運行収入が昨年対比で約113%(約220万円)、乗車人員は、約107%(約5,100名)の増となり一定の結果を残すことができた。

また、11月3日に取り組んだ3回目となるバス祭りでは、西日本ジェイアールバス(株)の他、新たに京都バス(株)にも参加頂き多くの方にバスへの関心を深めていただいた。

a 乗車人員 71,459人(前年度実績 66,315人)

b 運行収入 18,056,050円(前年度実績 15,849,140円)

(イ) スクールバス

学校や京都市教育委員会との連携により、安全運行を第一の目標に掲げ社会実験に合わせた運行も行うなか、事故を起こすことなく一年間運行することができた。

オ 公共施設管理事業

(ア) 地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」管理運営事業

ウッディー京北は、地域活性化や地域振興の拠点として、事業としては公益事業である委託販売部門と収益事業である喫茶部門での運営を行っている。

平成29年度は、入館者は前年対比として若干少なかったが、売上高は過去最高の1億5千万円を突破した。

入館者数 410,501人(前年度実績 414,341人)

売上高 156,399,562円(前年度実績 147,616,823円)

(イ) 宇津峡公園管理運営事業

平成29年度は、自然と季節感を味わえるイベント等に取り組む、ラフティング体験、鮎つかみ体験をはじめ、ハロウィンナイトやウナギつかみ体験など、日常で体験できないイベント開催により話題性をもたせながら、集客と滞在時間増に取り組んだ。

実績としては、オートキャンプサイト利用はブームもあり増加となったが、コテージ棟利用はグランピングキャンプブームの影響もあり利用減となり、デイキャンプ利用も周辺河川や都市河川敷の開放等により入園者減となった。

a 宇津峡公園入園者数 11,579人(前年度実績 11,773人)

b 宇津峡公園収入金額 23,324,191円(前年度実績 23,495,951円)

c ポイントカード発行数 9,467枚

カ 貸館事業

(ア) 葬祭関連事業

会場利用実績 32件

(イ) 田舎くらし体験事業

10年契約による施設利用 1件

キ 農産物処理加工施設整備事業(大豆の里京北「第6次産業」化拠点施設整備事業)

施設名称を「山国『水・土・里の館』」として、京北まごころみその生産を中心に、納豆餅やその他農作物の加工生産及び販売に取り組んでいる。

ク 合併記念の森創設事業

11月から臨時職員1名を月1~2日間勤務で雇用し、合併記念の森内の施設の維持管理や、周辺の草刈り作業等に取り組んだ。

また、12月及び3月に実施された森づくりイベントにも積極的な協力を行なった。

ケ 山村地域担い手育成定着支援事業

平成27年度の補助事業により導入した農業機械を新規就農者へ貸付けたほか、公社の管理農地での農作物栽培等に使用するなどにより有効活用した。

## (2) 財務諸表

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	51,668	38,932	12,735
未収金	4,802	16,251	△11,448
たな卸資産	2,465	1,711	754
貯蔵品	80	41	38
前払金	98	58	40
前払費用	222	205	16
流動資産合計	[59,335]	[57,199]	[2,136]
2. 固定資産			
(基本財産)			
基本財産	30,000	30,000	0
基本財産合計	(30,000)	(30,000)	(0)
(特定資産)			
建物	30,958	32,727	△1,769
土地	11,310	11,310	0
車両運搬具(特)	0	0	0
工具器具備品(特)	510	1,725	△1,216
建物附属設備(特)	4,907	5,660	△753
機械装置(特)	966	1,572	△605
退職給付引当資産	3,533	3,050	483
減価償却引当資産	20,300	20,300	0
リース資産(特)	1,180	1,435	△254
特定資産合計	(73,665)	(77,779)	(△4,114)
(その他固定資産)			
建物	6,295	7,251	△956
車両運搬具	499	1,166	△667
工具器具備品	1,441	1,370	70
構築物	1,880	2,257	△377
建物附属設備	121	152	△30
機械装置	0	1,055	△1,055
リサイクル預託金	72	72	0
長期前払費用	146	198	△52
その他固定資産合計	(10,455)	(13,521)	(△3,066)
固定資産合計	[114,120]	[121,300]	[△7,180]
資産合計	173,455	178,499	△5,044

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,027	15,401	1,625
前受収益	592	576	16
未払法人税等	359	70	289
未払消費税等	2,471	1,688	783
前受金	7,684	7,363	320
預り金	1,860	2,009	△149
リース債務	39	39	0
賞与引当金	3,088	3,256	△168
流動負債合計	[33,119]	[30,402]	[2,717]
2. 固定負債			
長期未払金	744	1,010	△265
退職給付引当金	3,533	3,050	483
リース債務	116	155	△39
固定負債合計	[4,394]	[4,215]	[179]
負債合計	37,513	34,617	2,896
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	29,730	33,086	△3,356
寄付金	30,097	30,677	△580
受贈土地	11,310	11,310	0
受贈建物	8,255	8,810	△555
指定正味財産合計	[79,393]	[83,884]	[△4,491]
(うち基本財産への充当額)	(30,000)	(30,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(49,393)	(53,884)	(△4,491)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[56,549]	[59,998]	[△3,449]
(うち特定資産への充当額)	(24,117)	(23,701)	(416)
正味財産合計	135,942	143,882	△7,940
負債及び正味財産合計	173,455	178,499	△5,044

正味財産増減計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6	6	0
事業収益	228,148	220,616	7,532
受取補助金等	3,356	3,715	△359
受取寄付金	580	759	△179
経常収益計	232,090	225,095	6,995
(2) 経常費用			
事業費	234,546	231,445	3,101
管理費	1,189	2,121	△932
経常費用計	235,735	233,566	2,169
当期経常増減額	△3,645	△8,471	4,826
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	555	0	555
経常外収益計	555	0	555
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	555	0	555
法人税、住民税及び事業税	359	70	289
当期一般正味財産増減額	△3,449	△8,541	5,091
一般正味財産期首残高	59,998	68,539	△8,541
一般正味財産期末残高	56,549	59,998	△3,449
II. 指定正味財産増減の部			
受取地方公共団体補助	0	0	0
土地受贈益	0	11,310	△11,310
建物受贈益	0	8,810	△8,810
一般正味財産への振替額	△4,491	△4,473	△18
当期指定正味財産増減額	△4,491	15,647	△20,138
指定正味財産期首残高	83,884	68,237	15,647
指定正味財産期末残高	79,393	83,884	△4,491
III. 正味財産期末残高	135,942	143,882	△7,940

## 2 平成30年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 管理部門

将来を見据え地域からの期待や要望に応え得る計画的な施設や組織整備，経営の改善等，健全な公社作りに取り組む。

(ア) 施設整備計画

(イ) 組織強化計画

#### イ 事業部門

(ア) 農地利用集積円滑化事業

農地集積円滑化団体として，地域内での農地の保全管理や効率的な農業の実施を目的に，後継者不在による貸付希望農地を集積し，担い手農家の規模拡大や新規就農者の耕作地の確保に積極的に取り組む。

(イ) 田舎の便利屋事業

田舎の便利屋として，多種多様な作業の依頼対応と，新たな作業者の確保に取り組むと共に，農作業受託は未整備田等を問わず，依頼作業に対応できるよう取り組む。

a 地域の担い手確保

b 農作業受託

(ウ) 地域活性化事業

京北地域の課題である，人口減少の歯止めや都市住民との交流，新たな特産品の開発による生産者の所得向上など，地域の活性化を目指した事業と運営に取り組む。

a 空き家対策

b 地域特産物研究開発と学校給食資材の供給

c 市民農園の運営と都市住民との交流

(エ) 地域交通事業

道路運送法に基づく「公共交通空白地有償運送事業」として，京都市及び地域団体との連携をはかり，安全運行を最重点に社会実験の結果に基づく効率的な運行にも取り組み，乗車人員の増員や運賃収入の増収も目標に，京北地域の交通手段の確保と信頼される輸送サービスに努める。

a 京北ふるさとバス運営事業

b スクールバス交通受託事業

(オ) 山村地域担い手育成定着支援事業

事業により導入した農業機械を，新規就農者や担い手農家の支援として貸し出すなど，有効に役立てるべく活用する。

(カ) 公共施設管理事業

a 地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」管理運営事業

(a) 委託販売部門（公益事業）

(b) 喫茶部門（収益事業）

b 宇津峡公園管理運営事業

(キ) 貸館事業

a 葬祭関連事業

b 田舎くらし体験事業

(ク) 農産物処理加工施設整備事業（大豆の里京北「第6次産業」化拠点施設整備事業）

京北地域の特産品開発や農業活性化の拠点として，主要生産物の大豆を原料に味噌加工，納豆もちの生産販売に努める。



## (2) 予算

## 正味財産増減予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産受取利息	6	6	0
事業収益	92,759	90,779	1,980
使用料等収益	29,107	29,143	△36
手数料等収益	24,396	23,493	903
補助金収益	34,000	34,000	0
委託料収益	48,250	50,267	△2,017
交付金収益	1,800	1,800	0
雑収益	624	1,158	△534
受取補助金振替額	2,497	3,210	△713
受取寄付金振替額	32	568	△536
経常収益計	233,471	234,424	△953
(2) 経常費用			
事業費	237,375	234,557	2,818
管理費	3,355	1,889	1,466
経常費用計	240,730	236,446	4,284
当期経常増減額	△7,259	△2,022	△5,237
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税, 住民税及び事業税	1,134	689	445
当期一般正味財産増減額	△8,393	△2,711	△5,682
一般正味財産期首残高	65,828	68,539	△2,711
一般正味財産期末残高	57,435	65,828	△8,393
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△2,529	△3,778	1,249
当期指定正味財産増減額	△2,529	△3,778	1,249
指定正味財産期首残高	60,390	64,168	△3,778
指定正味財産期末残高	57,861	60,390	△2,529
III. 正味財産期末残高	115,296	126,218	△10,922

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	236,479	225,095	232,090	233,471
	当期経常増減額	4,375	△8,471	△3,645	△7,259
	当期正味財産増減額	605	7,106	△7,940	△10,922
貸借対照表	総資産	175,507	178,499	173,455	
	総負債	38,731	34,617	37,513	
	正味財産	136,776	143,882	135,942	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	公共施設管理事業 (指定管理)	5,500	5,500	5,500	5,500
	スクールバス運行受託事業	18,500	18,088	18,570	
	合併記念の森維持管理事業	1,985	1,841	490	
	京北農地集積人材育成事業	10,800			
	京北地域農林業地域活性化促進事業	13,000	12,471	11,664	
補助金	京北ふるさとバス運営事業補助金	34,000	34,000	34,000	34,000
	山村地域担い手育成定着支援事業	2,460			

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度は、収益事業を強化して売上が伸びたが経費も嵩んで利益が伸びず、公益事業の補填ができなかったため、当期経常増減額、当期正味財産増減額ともに赤字となった。</li> <li>今後、更なる経費削減を行い、収益事業の売上が伸びずとともに、収支を改善する必要がある。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の活性化のために、平成29年度から京北の3小学校へ米飯給食用として地元産米の供給が開始しており、事業が徐々に拡大している。</li> <li>京都市地域特産物需要拡大センター (指定管理施設) では、技能のある料理人を雇用し、新規メニューの開発や仕出し弁当の販売等にも取り組んでおり、売上の向上とリピーター確保に寄与している。</li> <li>一方で、田舎の便利屋事業や空家相談、市民農園等の事業については、人材不足が影響して目標数値を割り込んでおり、今後、運営体制の強化が求められる。</li> </ul>

## 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 収益事業に積極的に取り組み、収入を増やしている点は評価できる。今後の自律化に向けて、経費節減等により収益力を高め、早期に当期経常増減額及び当期正味財産増減額の黒字化を目指す必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 様々な公益事業を実施して、地域振興に貢献している点は評価できる。</li><li>・ 一方で、人手不足等で十分な成果が出せていない事業もある。限られた人員、経営資源の中で、より事業の効果を出していくためには、現在行っている事業について、改廃を含めて見直しを行い、より優先度の高い事業に集中して取り組んでいくことも必要である。</li></ul>